

表 A 口腔外科中心の治療を目的変数にした場合のロジスティック回帰分析結果

(有効分析対象数 769/888 ; 86.6%)

「救急患者を受け入れている」、「病診連携を実施している」、「認定がいる」、「主任が学会の指導医である」ということが統計学的有意に「口腔外科（2次医療）を中心とした診療を行っている病院歯科」と関連していた。

	B	有意確率	オッズ比	オッズ比の 95.0% 信頼区間	
				下限	上限
公的機関	0.43	0.29	1.54	0.69	3.44
社会保険機関	0.76	0.18	2.13	0.70	6.48
医療法人	-0.34	0.43	0.71	0.31	1.66
地方型	0.03	0.88	1.03	0.67	1.58
常勤歯科医数	-0.03	0.72	0.97	0.83	1.14
救急体制	-1.79	0.00	0.17	0.07	0.39
病診連携	2.189	0.00	8.87	3.67	21.5
在宅医療	-0.329	0.25	0.72	0.42	1.25
認定医	0.939	0.00	2.55	1.58	4.11
学会指導医	1.31	0.00	3.69	2.15	6.34

表 B Universal Precaution を目的変数にした場合のロジスティック回帰分析結果

(有効分析対象数 740/888 ; 83.3%)

Universal Precaution を実施している病院歯科と有意に関連があった項目は「口腔外科中心の診療を実施している」ことであり、「社会保険機関」では「国立」よりも有意に Universal Precaution を実施していない。

	B	有意確率	オッズ比	オッズ比の 95.0% 信頼区間	
				下限	上限
公的機関	-0.25	0.36	0.78	0.46	1.33
社会保険機関	-0.92	0.03	0.40	0.17	0.92
医療法人	-0.21	0.42	0.81	0.48	1.35
地方型	0.04	0.78	1.04	0.77	1.41
常勤歯科医数	0.07	0.28	1.08	0.94	1.23
口腔外科中心	0.48	0.02	1.61	1.07	2.43
救急体制	-0.06	0.76	0.94	0.65	1.36
病診連携	-0.01	0.97	0.99	0.69	1.43
在宅医療	0.09	0.64	1.09	0.76	1.57
認定医	0.23	0.21	1.26	0.88	1.80
学会指導医	-0.10	0.70	0.91	0.55	1.49

表 C 入院患者の感染症チェックを目的変数にした場合のロジスティック回帰分析結果（有効分析対象数 678/888 ; 76.4%）

統計学的に有意な関連が認められる項目はなかった。

	B	有意確率	オッズ比	オッズ比の 95.0% 信頼区間	
				下限	上限
公的機関	0.23	0.42	1.26	0.72	2.20
社会保険機関	0.11	0.80	1.12	0.46	2.70
医療法人	0.51	0.07	1.66	0.96	2.87
地方型	-0.17	0.28	0.84	0.61	1.15
常勤歯科医数	0.02	0.81	1.02	0.88	1.17
口腔外科中心	0.33	0.11	1.40	0.93	2.10
救急体制	-0.06	0.79	0.95	0.63	1.43
病診連携	0.34	0.09	1.41	0.94	2.11
在宅医療	-0.33	0.09	0.72	0.49	1.05
認定医	0.00	1.00	1.00	0.69	1.45
学会指導医	0.27	0.29	1.31	0.79	2.17

表 D 外来患者の感染症チェックを目的変数にした場合のロジスティック回帰分析結果
(有効分析対象数 747/888 ; 84.1%)

「医療法人」は「国立」と比較して、有意に外来患者の感染症チェックを実施しない傾向がある。

	B	有意確率	オッズ比	オッズ比の 95.0% 信頼区間	
				下限	上限
公的機関	-0.55	0.05	0.57	0.33	1.01
社会保険機関	-0.47	0.31	0.63	0.25	1.55
医療法人	-0.64	0.02	0.52	0.30	0.92
地方型	-0.14	0.43	0.87	0.62	1.22
常勤歯科医数	-0.06	0.46	0.95	0.82	1.10
口腔外科中心	0.09	0.68	1.09	0.71	1.68
救急体制	-0.21	0.33	0.81	0.52	1.25
病診連携	0.27	0.21	1.31	0.86	2.01
在宅医療	-0.09	0.69	0.92	0.61	1.39
認定医	0.32	0.12	1.37	0.92	2.04
学会指導医	0.30	0.24	1.35	0.82	2.24

表 E 感染者治療（エイズ患者の歯科治療）を目的変数にした場合のロジスティック回帰分析結果
(有効分析対象数 743/888 ; 83.7%)

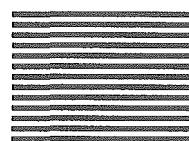
「医療法人」は「国立」よりもエイズ患者の歯科治療を実施しない傾向がある。常勤歯科医師数が多くなるほど、また病診連携を実施して、認定医がいることが、エイズ患者の歯科治療を実施していることと有意に関連していた。

	B	有意確率	オッズ比	オッズ比の 95.0% 信頼区間	
				下限	上限
公的機関	0.14	0.70	1.15	0.57	2.32
社会保険機関	0.60	0.23	1.82	0.69	4.80
医療法人	-1.41	0.00	0.25	0.11	0.54
地方型	-0.22	0.33	0.80	0.52	1.24
常勤歯科医数	0.21	0.02	1.23	1.04	1.45
口腔外科中心	0.39	0.11	1.48	0.91	2.38
救急体制	-0.48	0.15	0.62	0.32	1.19
病診連携	1.06	0.00	2.89	1.45	5.77
在宅医療	-0.32	0.30	0.73	0.40	1.33
認定医	0.80	0.00	2.22	1.35	3.65
学会指導医	-0.21	0.47	0.81	0.46	1.44

表 F 病診連携を目的変数にした場合のロジスティック回帰分析結果
(有効分析対象数 769/888 ; 86.6%)

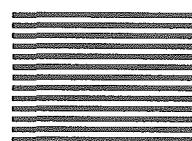
公的機関は国立と比較して有意に病診連携を実施している。口腔外科中心の治療を行っている病院歯科、認定医がいる病院歯科、救急患者を受け入れているほど病院連携をよく実施している。

	B	有意確率	オッズ比	オッズ比の 95.0% 信頼区間	
				下限	上限
公的機関	1.29	0.00	3.62	1.93	6.76
社会保険機関	0.80	0.13	2.22	0.78	6.31
医療法人	0.44	0.14	1.56	0.86	2.82
地方型	-0.23	0.23	0.80	0.55	1.15
常勤歯科医数	0.15	0.08	1.16	0.98	1.38
口腔外科中心	2.16	0.00	8.68	3.62	20.81
救急体制	-1.44	0.00	0.24	0.16	0.35
在宅医療	-0.13	0.55	0.88	0.58	1.34
認定医	0.57	0.01	1.76	1.15	2.71
学会指導医	-0.08	0.84	0.93	0.45	1.92



アンケート調査に関する基礎資料

(アンケートの一次集計に関する資料を一括掲載した)



1. 対象施設別アンケート設問

- 1) 一般病院歯科施設に対するアンケート調査表
 - 2) 全施設に対するアンケート設問総括
2. アンケート調査に対する対象施設別一次集計結果

I. 対象施設別アンケート設問

アンケート調査の対象施設はその特殊性から、1. 一般病院歯科施設、2. 医科大学・医学部付属病院歯科施設、3. 歯科大学・歯学部付属病院、の3群に分け、それぞれの群に対して別個の調査表を作成し各施設に発送した。個々の設問の内容はできるだけ3群に共通の内容とし、内容の同じものについてはできるだけ同一の番号を設定したが、各群に固有な問題については独自の設問も作成した。このため、最終的に発送した調査表では、設問が必ずしも連番になっておらず、実際の調査表（図1～図14）ではところどころ欠番もみられたがミスプリントではない。

設問は、設問Aと設問Bから構成され、前者は主として病院の概要や全般的な内容を問うたものであり、病院事務関係者が回答できる内容のものである。一方、後者（設問B）は、歯科の施設長（医長、部長、科長、教授）に回答を要請した設問である。

アンケート調査票の全設問を以下に提示するが、個々の設問がどの群に使用されたかを示すため、個々の設問の末尾括弧内に、一般（一般病院歯科施設）、医（医科大学・医学部付属病院歯科施設）、歯（歯科大学・歯学部附属病院）、と記入した。

 研 <small>HEALTH & WELFARE</small>
<p>病院歯科に関するアンケート調査のお願い</p> <p>敬啓、貴下におかれましては益々ご清祥のことと拝察申し上げます。</p> <p>さて、21世紀を迎える世界でも新しい時代に向けての変化が求められています。単なる治療を目的にした医療から、機能の回復やQOLを重視した医療、健康を維持するための医療、さらにはケアの問題へと展開しつつあります。歯科医療においては、先進国共通の問題として、う蝕や歯周病の罹患率が低下するとともに、歯科医師の過剰という問題も提起されています。</p> <p>このような状況にあって、21世紀に向けての医療提供体制の基本的な考え方である「患者による医療機関への自由な選択を確保しつつ、医療機関の機能分担を明確化し、適正かつ効率的な医療提供体制を確立する」ためには、各歯科医療機関の能力と機能に応じた位置づけを可能な限り明確にし、歯科医療全体の基本的体制を再構築する必要があります。このためには、従来とかく明確でなかった「病院歯科」の機能分担を推進し、近未来における医療提供体制の中で病院歯科を有効に位置づけるための体制作りを進めることができます。</p> <p>このアンケート調査の目的は、病院歯科に関して精度の高い現状分析を行い、今後の効率的歯科医療提供体制の中で歯科医療をどのように定位し位置づけたらよいか、また、問題点がどこにあるかに関する総合的に検討するための基礎データを得ることにあります。</p> <p>調査結果は統計的に分析し、報告書として公表されますが、個々の施設に関するデータについてはご迷惑をおかけすることのないよう慎重に取り扱う所存であります。</p> <p>アンケート調査の多い今、大変ご迷惑とは存じますが、本調査の主旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申しあげます。</p> <p>末筆ながら、ご健勝を心からお祈り申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">謹白</p> <p>厚生科学研究所 主任研究者 賀田 博（三井紀念病院） 分担研究者 山田裕次（岡崎市民病院） 田中義弘（神戸市立中央市民病院） 佐野晴男（独立行政法人 鈴木良生（愛知三の丸病院） 川崎治二（長崎大学歯学部）</p>

基資・図1

 研 <small>HEALTH & WELFARE</small>
<p>アンケートのご記入にあたって</p> <p>□このアンケート用紙は、調査表Aと調査表Bとの2部からできています。調査表Aは、病院事務担当者（医事課職員など）にご回答いただき、調査表Bは、歯科の主任担当者（部長、医長、科長など）にご回答いただくよう問題を分類してありますのでよろしくお願ひ申しあげます。</p> <p>□このアンケートについてのご回答は、<u>貴院における平成12年の実績に基づいて</u>ご記入下さい。年度制を取っている施設では毎月（3～4ヶ月分）が必要ですが、関連する質問はごく一部であるため、ご容赦ください。</p> <p>□ご回答にあたって直記欄が番号の場合、該当する番号をマルで囲って下さい。</p> <p>□ご回答が複数ある場合は、特に断りのないかぎり複数回答されても結構です。</p> <p>□ご回答は平成13年1月末日までにご返送下さるようお願い申しあげます。</p> <p>□日本アンケート調査は、回収率の高い信頼性のあるデータを得ることを目的としているため、ご回答いただけない場合やご回答が万が一不備の場合は、当方から再度質疑紙に直接お問い合わせすることができますのでご了承下さい。</p> <p>□日本調査についてご意見、ご不明な点などがありましたら下記の施設にお問い合わせ下さい。</p> <p>○三井紀念病院前橋林口腔外科 賀田 博 〒101-0024 千代田区神田と京町1 ☎ 03-3802-9111, FAX 03-5687-9765</p> <p>■ 関東地区 ○高島立原歯科医院口腔外科 依野耕男 〒145-0065 大田区東根谷4-6-10 ☎ 03-6734-8600, FAX 03-5734-8023</p> <p>○岡崎市民病院歯科口腔外科 山田裕次 〒444-8553 岡崎市高島字御手洗5丁目5番地 ☎ 0564-06-7239, FAX 0564-26-4223</p> <p>■ 中部、東北、北海道地区 ○豊見三の丸病院歯科口腔外科 鶴村長生 〒960-0001 宮古市中田三の丸3-2-1 ☎ 052-961-7011, FAX 052-961-7013</p> <p>○神戸市立中央市民病院歯科口腔外科 田中義弘 〒650-0046 神戸市中央区灘中町4-6 ☎ 078-302-4321, FAX 078-302-7537</p> <p>■ 中国、近畿地区 ○神戸市立中央市民病院歯科口腔外科 田中義弘 〒650-0046 神戸市中央区灘中町4-6 ☎ 078-302-4321, FAX 078-302-7537</p> <p>○札幌大学医学部予防歯科学教室 川崎治二 〒652-8102 長崎市坂本7-1 ☎ 0958-47-2111, FAX 0958-43-1060</p>

基資・図2

厚生省告白

アンケート調査表 A

□ 調査表Aは、病院事務(医事課)担当者の方にご記入をお願いします□

まずははじめに以下の質問にご回答ください。

□ 患者には何科の診療科がありまですか。

1. ある
2. 病院にならなかった、現在もない
3. 病院にはあったが、現在はない
- 4) ① 品種が取れなかっただから
② 病院医師がいなかっただから
③ 痘瘍が治癒化したため
④ 患者が少なかっただから
⑤ その他の、理由を具体的に()

年齢

4. 現在はないが、将来観測する可能性はある

□ 回答が2.、3.、4. の場合(該科の診療科がない場合は、以下のすべての質問にご回答をいたぐる必要がありませんので調査表Aおよび調査表Bを封筒の封筒にてご返送ください。)

□ 本表では会計年度はつぎのどれですか。

1. 1月1日～1月31日
2. 毎年4月1日～9月30日
3. 毎年10月1日～8月31日
4. その他(毎年 月 日～月 日)

施設名			
所在地	〒		
記入者名	性別		
記入日	2001年	月	日

- 1 -

基資・四三

用紙

参考用

該病院の所轄する二次医療圏名をご記入ください。

該病院の診療科目数は別枠ですか下の表に記入ください。

診療科	名
1) 総合	名
2) 専門科	名
3) 伝染病科	名
4) 精神科	名
5) 放射線科(画像)	名
6) その他	名

該病院(学科以外)のなかで、該病院にあるものをマルで印してください。

内科、精神科、呼吸器科、腎臓精神科、神経内科、呼吸器科、呼吸器外科、消化器科、消化器内科、消化器外科、腎臓泌尿科、泌尿器科、小児科、外傷、創傷外科、形成外科、大血管外科、心臓血管外科、心臓血管内科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、こう門科、産婦人科、婦科、耳鼻咽喉科、食事指導科、感染科、麻酔科、理学療法科、放射線科、

その他

成年2.1年の診療実績についておたずねします。

1. 初回外来の用意患者数(新規初診定数)で施設を含む)	名
2. 初回外来の休日・休業日数	名
3. 初回外来の休日・休業日数	名
4. 初回外来の入院人数の平均在院日数	日
5. 初回外来の新規登録	名
6. 前年度より新規登録	名
7. 前年度より新規登録	名
8. 新規の初回外来者数	名
9. 新規の初回外来者数	名
10. 新規の初回外来者数(前年比)	名
11. 新規の初回外来者数(前年比)	名

該科で診療報酬提供費を算出し該病院に船引(記述欄)する場合は

1) ほとんどない 2) 10両以下/月 3) 11両~20両/月 4) 20両以上ある

該病院は歯科医院ですか。 1) はい、 2) いいえ

該病院はリハビリの施設病院ですか。 1) はい、 2) いいえ

該病院は医療施設研究開発病院ですか。 1) はい、 2) いいえ

該病院は「はい」の組、平均1.2回の厚生年次会員は

該病院では定期検査を行っていますか。 1) はい、 2) いいえ

該病院を受診する場合、原則として紹介状を必要としますか。 1) はい、 2) いいえ

該院の診療業務は登録医または准拠医師をとっていますか。 1) はい、 2) いいえ

該院は「はい」の場合、当直医師も含まれていますか。 1) はい、 2) いいえ

院外の医師または歯科医師が貴病院で診療でありますか。 1) はい、 2) いいえ

院内の専門科の専門医が貴病院で診療でありますか。 1) はい、 2) いいえ

院外(他の病院)で貴病院のCTやMRIを利用できますか。 1) はい、 2) いいえ

在宅医療を行っていますか。 1) はい、 2) いいえ

該院は「はい」の場合在宅医療の後方支援を行っていますか。 1) はい、 2) いいえ

該病院の経営状態は良好ですか。 1) 良好、 2) あまりよくない(参考)

基資・圖4

アンケート調査表 B

調査表Bは、ドクターにご記入をお願いします□

施設名			
記入者名		役職名	
記入日	2001年	月	日

- 3 -

基資・図5

専科別

該科の医療科名(保健所に届け出たもの)は下記のどれですか。

- 消化
- 歯科口腔外科
- 婦人科
- 小児科
- 眼科・口腔外科
- 産科・歯科口腔外科
- 皮膚科
- その他()

上記の診療科名のはか院内医療科名を提示していますか。

1) はい 2)いいえ

該科別(はい)の場合は、その該科科名をお書き下さい。

スタッフの特徴についてお尋ねします。

専門職	会員登録番号	その他の 名前	研修医
衛生技師	名	名	名
衛生士	名	名	名
看護師	名	名	名
技工士	名	名	名
看護助手	名	名	名
児童	名	名	名
その他	名	名	名

* 記入時、各答肢の区別は
員登録での取り扱いに
したがって下さい。

診療器具・器械器具についてお尋ねします。

ユニット器具	台
聴取器専用ユニット	台
オルガニコンモト	台
超音波スケーラー	台
根管充填用器具	台
電気式スクリュー	台
CT(断面)	台
MRI(体内)	台

該科および該科の設備についてお尋ねします。

- ICUはあるですか
- CCUはあるですか
- 開設病室ありますか
- 精神科病室ありますか
- 精神科病棟ありますか
- 崩壊症の施設はありますか

1) はい 2) いいえ

育成医療機関の指定を受けていますか。

1) はい 2) いいえ

該科の診療科目はつづきのどれに当てはまりますか。

- 口腔外科(二尖瓣狭窄)中心
- 一般の歯科治療(有痛性歯根尖端炎を含む)中心
- 歯の入念な処理者、歯科を中心
- 閑定された歯者のみ(企業や西歯の従業員など)
- どちらともいえない(中間型)
- その他()

ウイルス性肝炎患者の歯科治療をしていますか。

1) している 2) していない

基資・四六

厚生労働科学研究（H12-医療-007）基礎資料

附録7

□ 厚生労働省の歯科治療をしていますか。		1) している, 2) していない
□ 昨年1年間の費用における入院患者について下記の数にご記入下さい。		
人件費(総額)(実数)	名前	看護師費
医療費	名前	看護師費
薬費	名前	看護費
外傷	名前	看護費
先天性形態異常	名前	看護費
虫歯	名前	看護費
要開始症(外科的疾患)	名前	看護費
障害者歯科治療	名前	看護費
在宅療養費	名前	看護費
その他	名前	看護費

□ 入院患者について感染症のチェック(HBV,HCV,HIVなど)をしていますか。

- すべての医療に対して行っている
- 回食の得られた患者に対してして行っている
- 対応から判断して行っている
- 選択的(必要な方に応じて)に行っている
- 行っていない

□ 外来患者について感染症のチェックをしていますか。

- 向基の得られた患者に対してすべて行っている
- 医師から判断して行っている
- 既往歴に対して行っている
- 既往歴に応じて選択的で行っている
- 既往歴に限らず必要な方に応じて行っている
- 原則として行っていない

□ 全患者に対する区別なく感染予防策(Universal precaution)を実施していますか。

- している, 2) していない

□ 費用には学会の認定医がいますか。

- はい, 2) いいえ

□ 部長(医長、科長)は学会の指導医ですか。

- はい, 2) いいえ

□ 「はい」の場合、学会名をお書き下さい。

□ 部長(医長、科長)以外に学会の指導医はいますか。

- はい, 2) いいえ

□ 「はい」の場合、学会名をお書き下さい。

□ 歯科は学会の研修指定機関ですか。

- はい, 2) いいえ

□ 「はい」の場合、学会名をお書き下さい。

- 5 -

基資・図7

附録8

□ 歯科医療会に入会していますか。		
□ 日本歯科医師会に入会しているか		
2) 都道府県歯科医師会に入会している		
3) 地区歯科医師会に入会している		
4) 入会していない		
□ 入会している場合、誰が入会していますか。		
1. 歯科の歯医者		
2. 訓練		
3. その他()		
□ 入会していない先生にお尋ねします。入会しない理由は何ですか。		
1. 必要性がないから		
2. 入会金が高すぎるから		
3. 歯科医には一時的に勤務しているから		
4. その他の()		
□ 歯科での歯科患者の受け入れ体制についておたずねします。		
1. 24時間体制を受け入れている		
2. 平日夜間のみ受け入れている		
3. 休日のみ受け入れている		
4. 可能な場合は受け入れている		
5. 週末も受け入れている		
6. その他()		
□ なんらかの形で受け入れている場合、その実績についておたずねします。		
1. 一日平均町内医療の被診者は受け入れていますか		
2. 一年前一年前に急いで送された歯科が主な被診者は何名でしたか		
3. 一年前一年前に急いで送られた歯科を入院した患者は何名でしたか		
□ 被診者を受け入れない理由はありますか。		
1. 病院が認定料金でないから		
2. タクシーフィーがないから		
3. 口腔内清潔度がないから		
4. 必要性がないから		
5. 病院がやりたくないから		
6. その他()		
□ 歯科が歯科医師臨床研修施設の指定を受けていますか。		
1) 受けている, 2) 受けていない		
□ 費用が「1) 受けている」の場合、該当欄から該当箇所までの質問にお答えください。 「2) 受けていない」の場合、該当欄から該当箇所までの質問にお答え下さい。		
□ 1) 受けている場合は、該当欄から該当箇所までの質問にお答え下さい。		
1. 単職方式		
2. 総合方式の主たる施設		
3. 総合方式の従事する施設		
□ 2) 受けていない場合は、該当欄はどこまでありますか。		
1. 特徴(医師)と併設である		
2. 附属(医師)と直営の扱いである		
3. その他の()		
□ 研修生のための研修あるいは有用なものはありますか。		
1) ある, 2) ない		
□ 研修生のための研修あるいは有用なものはありますか。		
1) ある, 2) ない		

- 6 -

基資・図8

附録9

□ 原則上上の研修期間は1年以上ですが、貴施設での研修期間はつぎのどれですか。		
1. 1年間 2. 2年間 3. 3年以上		
□ 2年以上の場合、待遇はどうのよですか。		
1. 1年ほど同じ		
2. そのまま()		
□ 研修内容についておたずねします。実際に行っている内容はつぎのどれですか。		
1. サリナリヤムで、一般歯科診療を中心に行っている		
2. 口腔内中心の研修にならざるを得ない		
3. 研究の傍など、ある程度医師的な内容を含めて行っている		
4. その他の()		
□ 研修内容に対しての歯科治療をどのように教育されていますか。		
1. 年間を通じて学習を中心に行っている		
2. ほとんど研修を通じて、簡単な治療内容についてのみ實習にやらせている		
3. ある間は治療者に対する研修指導をやらせている		
4. 研修の実力に応じて歯科治療を積極的にやらせている		
5. できるだけ早い段階から、専門に対する教育(看護師教育など)が不十分である		
□ 研修生の被診歴においてある歯科から卒業教育についてどのように思われますか。		
1. 特に問題なくよく被診がなされている		
2. 大学にあって歯科教育にかかり始めている		
3. 研修生に対する被診頻度については不十分な水準が多い		
4. 一般歯科に対する教育(看護師教育など)が不十分である		
5. その他の()		
□ 研修生の研修待遇についてどのようになりますか。		
1. いろいろ面をみてない		
2. ある程度待遇について相談に来っている		
3. 研修料も自薦料も面倒をみている		
4. その他の()		
□ 歯科医師臨床研修医の待遇について具体的な企画についてお答え下さい。		
円/月		
□ 研修料は「受けていない」と回答された先生に聞きします。その理由はつぎのどれですか。		
1. 指定された条件を満たしていないから		
2. 既存の施設でいいから		
3. 診療がとれないから		
4. メリットがないから		
5. 研修管理者が評判が悪いから		
6. 予算的制約がないから		
7. 困りがないから		
□ 研修料を支給される予定はありますか。		
1. 中断中		
2. 減額中		
3. 逆々受け入れる方針である		
4. 受け入れる方針であるが、時間は不明である		
5. 受け入れる予定はない		

- 7 -

基資・図9

附録10

□ 歯科の研修体制についておたずねします。		
1. 単職方式		
2. 総合方式の主たる施設		
3. 総合方式の従事する施設		
□ 上述の歯科医師臨床研修医以外になんらかの研修医を受け入れていますか。		
1. 研修受け入れている		
2. 研修入れることもある		
3. 研修入れない		
□ 「受け入れている」の場合は、その実績はつぎのどれですか。		
1. ほとんど定期的研修医(研修生など)、その場合は(有料、無料)		
2. 週1~2回、月1~2回など、不定期にくる研修医(研修生など)		
3. おまかめ歯科医師の入り		
4. その他()		
□ 歯科医師の参加できるなんらかの勉強会をしていますか。		
1) している, 2) していない		
□ 研修料には報酬歩合がありますか。		
1) ある, 2) ない		
□ 「ある」の場合、通常の報酬をしていませんか。		
1) している, 2) していない		
□ 「ある」の場合、通常の研修料をしていませんか。		
1) している, 2) していない		
□ 研修料は歯科衛生士学校の報酬歩合研修料ですか。		
1) はい, 2) いいえ		
□ 研修料のための研修あるいは有用なものはありますか。		
1) ある, 2) ない		
□ 研修料のための研修あるいは有用なものはありますか。		
1) ある, 2) ない		
□ 研修料には報酬歩合がありますが、このことについてどのようにお考えですか。		
1. 今後歩合報酬を適切に歩くべきである		
2. あるものもある、原則は難しい		
3. 今のままよい		
4. 必要と想わない		
5. 分からない		
□ 病院病院において歯科の研修体制を行っていますか。		
1. 地区歯科医師会に准拠して行っている		
2. 取り決まりはないが、実質的には行っている		
3. 地域との間に合うよう努力している		
4. 行っていないが、実際は隣接		
5. 行っていない		
□ 研修料の範囲が4., 5. の場合、その理由は何ですか。		
1. 地域からの要請がない		
2. 地域の方がでそのような研修がまったく進んでいないから		
3. 自施設(研修目的)にその様な体制が競っていらないから		
4. 他の施設が行っているから		
5. 徒歩で行っているから		
6. 必要性を感じない		
7. 認定がない		
8. 分からない		
9. その他()		
□ 「行っていない」場合、病院病院はじめはありますか。		

- 8 -

基資・図10

厚生労働科学研究（H12-医療-007）基礎資料

基資・四 11

理科料	日本病院歯科口腔外科協議会をご存じですか?	
付託料	日本病院歯科口腔外科協議会に加入されているか、 1)はい、2)いいえ	
付託料	「かかりつけ歯科医制度」を推進する意味から、すでに歯科が実際に対応しているものをつぎの中から選んで下さい(複数回答可)	
1. いわゆる感染症(HBV,HCV,HIV) 対応に対する歯科治療		
2. 有障者に対する歯科治療		
3. 緊たきり、先天性歯冠形成不全に対する入院下での一般歯科治療		
4. 障害者歯科治療		
5. 口腔外傷的疾患の治療		
6. 取扱可能な年齢層		
7. 歯内療法の隣接例		
8. 腎機能障害時の取扱		
9. 御園地に対するアドバイス		
10. インプラントの植立手術		
11. 地域歯科医師会との連携による研修		
12. 学会の定期歯科会における研修講演		
13. 歯科診療報酬改訂制度における算定方式の主導権		
近中医師会より遡り遡り遡り遡る問題は散々して、別院はどこでも経営に厳しい対応被迫られているのが現状です。このような状況にあって、病院歯科も取扱の改善に腐心されているものと思われます。		
そこで、最後に貴病院歯科の昨年(2000/1/1~2000/12/31)の収入についておたずねします。		
外 来	入 院	
保険料収入	千円	千円
非保険収入	千円	千円
団保収入	千円	千円
その他	千円	千円
保険料+収入	千円	千円
合 計	千円	千円
貴歯科の収入についてどのように評価されますか?		
1. 病院に比べ高収入である		
2. 同程度である		
3. 歯科に比べ低収入である		
4. 歯科に比べ著しく低収入である		
5. 分からない		
貴歯科の収入を(さらに)改善するために、なにか努力をされていますか。		
1. 費削削減を実施している		
2. 正規の診療器具以外を活用している		
3. 保険の給付額離れのないよう勉強している		
4. 入院増やすよう努力している		
5. インプラントを積極的に導入している		
6. 紹介率を上げ、病院歯科登録を得よう努力している		
7. 給食を自ら調めている		
8. 離島を出でている(遠ざかれた)		
9. 収支上問題がないので、特に努力はしていない		
10. 特に努力はない		

基資・図12

原稿用紙	[印字用紙]
■ 本アンケート調査について、ご意見がございましたらお書き下さい。	
■ ご協力を賜り誠に有り難うございました、心より深謝申し上げます、■	
- 11 -	

基資・図13

A square red seal impression in the center of the page. The seal contains stylized characters in seal script, likely reading "齊東野語" (Qizhong Yewu), which is the title of the book.

基資・図14

アンケート調査表の全設問

A-1 貴病院には歯科の施設がありますか（一般）

1. ある
2. 過去にもなかつたし、現在もない
3. 過去にはあつたが、現在はない

- 1) 歯科の施設は何年前までありましたか 年前
 2) 歯科を廃止した理由はつぎのどれですか
 ①採算が取れなかつたから
 ②歯科医師がいなかつたから
 ③設備が老朽化したため
 ④患者が少なかつたから
 ⑤その他、理由を具体的に（ ）

4. 現在はないが、将来設置する可能性はある

A-2 貴院での会計年度はつぎのどれですか（一般）

1. 每年1月1日～12月31日
2. 每年4月1日～3月31日
3. 每年9月1日～8月31日
4. その他（毎年　　月　　日～　　月　　日）

A-3 貴病院の所属する二次医療圏名をご記入ください。（一般、医、歯）

A-4 貴病院の許可病床数は何床ですか下の表にご記入ください。（一般、医）

1. 総数	床
1) 一般病床	床
2) 精神病床	床
3) 伝染病床	床
4) 結核病床	床
5) 療養型病床群（再掲）	床
6) その他	床

A-4 貴病院の許可病床数は何床ですか。（歯）

総病床数	
口腔外科の病床	
口腔外科以外の病床	

A-5 病床の年間稼働率は何%ですか。（歯）

A-5 診療科（歯科以外）のなかで、貴病院にあるものをマルで囲んでください。（一般、医）

内科、精神科、神経科、神経精神科、神経内科、呼吸器科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器科、消化器内科、消化器外科、循環器科、循環器内科、循環器外科、小児科、外科、整形外科、形成外科、美容外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、性病科、こう門科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、気管食道科、感染症科、麻酔科、理学診療科、放射線科、
 その他（ ）

厚生労働科学研究（H12-医療-007）基礎資料

A-6 平成12年の診療実績についておたずねします。（一般、医）

1. 病院全体の初診患者数(初診料算定患者数で救急患者を含む)	名
2. 病院全体の延べ外来患者数	名
3. 病院全体の延べ入院患者数	名
4. 病院全体の入院患者の平均在院日数	日
5. 病院全体の紹介率	%
6. 歯科の延べ入院患者数	名
7. 歯科の延べ外来患者数	名
8. 歯科の初診患者数	名
9. 歯科入院患者の平均在院日数	日
11. 歯科の紹介率(質問B-28-1再掲)	%

A-6 平成12年の診療実績についておたずねします。（歯）

病院全体の初診患者数(再来新患を含まない数)	名
病院全体の初診患者数(初診料算定患者数で救急患者を含む)	名
病院全体の延べ外来患者数	名
延べ入院患者数	名
入院患者の平均在院日数	日
病院全体の紹介率	%

A-7 歯科で診療情報提供書を発行し他施設に紹介（逆紹介）する場合は（一般）

- 1) とんどない、 2) 10件以下／月、 3) 11～20件／月、 4) 20件以上、 ある

A-8 貴病院は救急病院ですか。（一般、医、歯）

1) はい、 2) いいえ

A-9 貴病院はエイズの拠点病院ですか。（一般、医）

1) はい、 2) いいえ

A-10 貴病院は医師臨床研修指定病院ですか。（一般）

1) はい、 2) いいえ

A-10-1 「はい」の場合、平成12年度の採用人数は

名

A-10 貴病院における平成12年度の医師臨床研修生の採用人数は何名ですか。（医）

名

A-11 貴病院では病診連携を行っていますか。（一般、医、歯）

1) はい、 2) いいえ

A-12 貴病院を受診する場合、原則として紹介状を必要としますか。（一般、医、歯）

1) はい、 2) いいえ

A-13 貴院の病診連携は登録医または連携医制をとっていますか。（一般、医）

1) はい、 2) いいえ

A-12-1 「はい」の場合、歯科医師も含まれていますか。

1) はい、 2) いいえ

A-14 院外の医師または歯科医師が貴病院で診察できますか。（一般、医）

1) はい、 2) いいえ

A-14-1 「はい」の場合、治療行為もできますか。

1) はい、 2) いいえ

A-15 院外医師との研修会（勉強会、症例検討会など）を行っていますか。（一般、医）

1) はい、 2) いいえ

A-16 院外の医師または歯科医師は貴病院のCTやMRIを利用できますか。（一般、医）

1) はい、 2) いいえ

A-17 在宅医療（医科）を行っていますか。（一般、医）

1) はい、 2) いいえ

A-17-1 「はい」の場合在宅医療の後方支援を行っていますか。

1) はい、 2) いいえ

A-18 病院の経営状態は良好ですか。（一般、医、歯）

1) 良好、 2) あまりよくない（赤字）

A-19 最近数年の状況において貴病院の新患数はどのように変動していますか。（歯）

- | | |
|--------------|------------|
| 1. ほとんど変動はない | 2. 増加傾向にある |
| 3. 少傾向にある | 4. 分からない |

厚生労働科学研究（H12-医療-007）基礎資料

B-1 貴科の標榜科名(保健所に届け出たもの)は下記のどれですか(複数回答可)。(一般, 医)

1. 歯科
2. 歯科口腔外科
3. 矯正歯科
4. 小児歯科
5. 歯科・口腔外科
6. 歯科・歯科口腔外科
7. 口腔科
8. その他 ()

B-1-1 現在、多くの歯学部および歯科大学附属病院において診療科の再編を行っていますが、貴病院における状況はいかがですか(歯)

1. 従来通りの診療科名である
2. ほとんど従来通りの診療科名である
3. 現在、検討中である
4. 半分程度再編を行った
5. 大幅に診療科の再編を行った

B-1-2 貴附属病院の具体的な診療科名をお教えください(歯)

B-2 上記の診療科名のほか院内標榜科名を掲示していますか(一般, 医).

1) はい, 2) いいえ

B-2-1 「はい」の場合、その診療科名をお書き下さい(一般, 医)

B-3 スタッフの構成についてお尋ねします。(一般, 医)

	常勤	非常勤*	その他	研修医
歯科医師	名	名	名	名
歯科衛生士	名	名	名	
看護婦	名	名	名	
技工士	名	名	名	
歯科助手	名	名	名	
受付	名	名	名	
その他	名	名	名	

B-4 設備・器械器具についてお尋ねします。(一般, 医)

ユニット総数	台
感染症専用ユニット	台
オルソパントモ	台
超音波スケーラー	台
根管長測定器	台
電気メス	台
CT (院内)	台
MRI (院内)	台

B-5 貴院および貴科の設備についてお尋ねします。(一般, 医)

B-5 貴院および貴科の設備についてお尋ねします。(一般, 医)

1. ICU はありますか(一般)
2. CCU はありますか(一般)

1) はい, 2) いいえ

1) はい, 2) いいえ

3. 図書室はありますか (一般) 1) はい, 2) いいえ
4. 歯科外来手術室はありますか (一般, 医) 1) はい, 2) いいえ
5. 病棟に歯科の処置室はありますか (一般, 医) 1) はい, 2) いいえ
- B-6 育成医療機関の指定を受けていますか. (一般, 医, 歯) 1) はい, 2) いいえ
- B-7 貴科の診療内容はつぎのどれに当てはまりますか. (一般, 医)
1. 口腔外科 (高次医療) 中心
 2. 一般歯科治療 (有病者歯科治療を含む) 中心
 5. どちらともいえない (中間型)
 6. その他 ()
- B-8 ウィルス性肝炎患者の歯科治療をしていますか. (一般, 医, 歯) 1) している, 2) していない
- B-9 エイズ患者の歯科治療をしていますか. (一般, 医, 歯) 1) している, 2) していない
- B-10 昨年1年間の貴科における入院患者について下記の表にご記入下さい. (一般, 医, 歯)
- | 入院患者総数 (実数) | 名 | 悪性腫瘍患者の内、再建手術症例 | |
|--------------|---|-----------------|----|
| | 名 | 総症例数 | 症例 |
| 良性腫瘍 | 名 | 貴科にて再建 | 症例 |
| 悪性腫瘍 | 名 | 院内形成外科に依頼 | 症例 |
| 囊胞 | 名 | 他院形成外科に依頼 | 症例 |
| 外傷 | 名 | | |
| 先天性形態異常 | 名 | | |
| 炎症 | 名 | | |
| 顎関節症 (外科的処置) | 名 | | |
| 障害者歯科医療 | 名 | | |
| 有病者歯科医療 | 名 | | |
| その他 | 名 | | |
- B-11 入院患者について感染症のチェック (HBV, HCV, HIVなど) をしていますか. (一般, 医, 歯)
1. すべての患者に対して行っている
 2. 同意の得られた患者に対してすべて行っている
 3. 既往歴から判断して行っている
 4. 選択的 (必要に応じて) に行っている
 5. 行っていない
- B-12 外来患者について感染症のチェックをしていますか. (一般, 医, 歯)
1. 同意の得られた患者に対してすべて行っている
 2. 既往歴から判断して行っている
 3. 觀血的処置に際しては原則的に行っている
 4. 觀血的処置に限らず必要に応じて行っている
 5. 原則として行っていない
- B-13 全患者に対して区別なく感染予防対策 (Universal precaution) を実施していますか. (一般, 医, 歯)
- 1) している, 2) していない
- B-14 貴科には学会の認定医がいますか. (一般, 医) 1) はい, 2) いいえ
- B-14-1 「はい」の場合、学会名をお書き下さい. (一般, 医)

学会
学会

学会

B-15 部長（医長、科長）は学会の指導医ですか。（一般）

B-15 主任（教授、助教授 etc.）は学会の指導医ですか。（医）

1) はい, 2) いいえ

B-15-1 「はい」の場合、学会名をお書き下さい。

学会
学会
学会

B-16 部長（医長、科長）以外に学会の指導医はいますか。（一般）

B-16 主任以外に学会の指導医はいますか。（一般、医）

1) はい, 2) いいえ

B-16-1 「はい」の場合、学会名をお書き下さい。（一般、医）

学会
学会
学会

B-17 貴科は学会の研修指定機関ですか。（一般、医）

B-17-1 「はい」の場合、学会名をお書き下さい。（一般、医）

1) はい, 2) いいえ

学会
学会
学会

B-18 貴科では管理者の誰かが歯科医師会に入会していますか。（一般、医）

1. 日本歯科医師会に入会している
2. 都道府県歯科医師会に入会している
3. 地区歯科医師会に入会している
4. 入会していない

B-18-1 入会している場合、誰が入会していますか。（一般、医）

1. 貴科の責任者
2. 院長
3. その他（ ）

B-18-2 入会していない先生にお尋ねします。入会しない理由は何ですか。（一般、医）

1. 必要性がないから
2. 入会金が高いから
4. その他（ ）

B-19 貴科での救急患者の受け入れ体制についておたずねします。（一般、医、歯）

1. 24時間体制で受け入れている
2. 平日夜間のみ受け入れている
3. 休日のみ受け入れている
4. 可能な場合のみ受け入れている
5. 受け入れていない
6. その他（ ）

B-19-1 なんらかの形で受け入れている場合、その実績についておたずねします。（一般、医、歯）

1. 一月平均何名程度の救急患者を受け入れていますか
 2. 昨年一年間に救急で搬送された歯科が主科の救急患者は何名でしたか
 3. 昨年一年に間に救急で歯科に入院した患者は何名でしたか
- 名
名
名

B-19-2 救急患者を受け入れていない施設におたずねしますが、その理由はなんですか。（一般、医）

1. 病院が救急病院でないから
2. スタッフが足りないから
3. 口腔外科医がないから
4. 必要性がないから
5. 救急はやりたくないから
6. その他（ ）

B-20 貴科は歯科医師臨床研修施設の指定を受けていますか。（一般、医） 1) 受けている、2) 受けていない

B-20 歯科医師臨床研修を行っていますか。（歯） 1) 行なっている、2) 行なっていない

貴科が「1」受けているの場合は、B-20-1 から B-20-12までの質問にお答えください。

「2」受けていないの場合は、B-20-13 からご回答下さい。

B-20-1 方式はつぎのどれですか。（一般、医、歯）

1. 単独方式
2. 複合方式の主たる施設

B-20-2 平成12年度に受け入れた研修医は何名ですか。（一般、医） 名

B-20-2 最近3年間に受け入れた研修生は何名ですか。今年度の予定数は。（歯）

方 式	10年度	11年度	12年度	13年度（予定）
単独方式	名	名	名	名
複合方式	名	名	名	名
合 計	名	名	名	名

B-20-3 上記の表の平成12年度の研修生について他校の卒業生の割合は何%でしたか。（歯）

	他校／全体数	%
単独方式		%
複合方式		%

B-20-3 研修医の身分はどのようにですか。（一般、医）

1. 研修医（医師）と同等である
2. 研修医（医師）と異なる扱いである
3. その他（ ）

B-20-4 研修医のための宿舎はありますか。（一般、医） 1) ある、2) ない

B-20-5 研修生のための部屋あるいは専用の机はありますか。（一般、医） 1) ある、2) ない

B-20-6 制度上の研修期間は1年以上となっていますが、貴施設での研修期間は何年ですか。（一般、医、歯）

1. 1年間
2. 2年間
3. 3年以上

B-20-7 2年以上の場合、待遇はどのようにですか。（一般、医、歯）

1. 1年目と同じ
2. その他（ ）

B-20-8 研修内容についておたずねします。実際に行っている内容はつぎのどれですか。（一般、医）

1. カリキュラムに従って、一般歯科診療を中心に行っている
2. 口腔外科中心の研修にならざるを得ない
3. 麻酔の研修など、ある程度医学的な内容を含めて行っている

4. その他 ()

B-20-9 患者に対しての歯科治療をどのように教育されていますか. (一般, 医, 歯)

1. 年間を通じて見学を中心に行っている
2. ほとんどの期間を通じて、簡単な治療内容についてのみ実際にやらせている
3. ある期間を過ぎたら患者に対する歯科治療をやらせている
4. 研修生の実力に応じて歯科治療を積極的にやらせている
5. できるだけ早い時期から、患者に対する歯科治療を積極的にやらせている

B-20-10 研修生の実地指導にあたられた経験から卒前教育についてどのように思われますか. (一般, 医)

1. 特に問題なくよく教育がなされている
2. 大学によって教育内容にかなり差があるように感じる
3. 患者に対する歯科治療については不十分な大学が多い
4. 一般医学に対する教育（有病者歯科医療など）が不十分である
5. その他 ()

B-20-11 研修後の進路についてどのようにされていますか. (一般, 医, 歯)

1. いっさい面倒をみていない
2. ある程度進路について相談に乗っている
3. 研修後も自施設で面倒をみている
4. その他 ()

B-20-12 歯科医師臨床研修医の待遇について具体的な金額についてお答え下さい. (一般, 医, 歯)

円／月

B-20-13 B-20 で「2」受けていないと回答された先生（施設）にお聞きします。その理由はつぎのどれですか. (一般, 医, 歯については2. は欠番)

1. 指定医のための条件を満たしていないから
2. 医科の指定病院でないから
3. 採算がとれないから
4. メリットがないから
5. 病院管理者が許可しないから
6. 予算的裏付けがないから
7. 関心がない

B-20-14 将来受け入れる予定はありますか. (一般, 医)

1. 申請中
2. 準備中
3. 近々受け入れる方針である
4. 受け入れる方針であるが、時期は不明である
5. 受け入れる予定はない

B-20-15 前問 B-20-14 で 1, 2, 3. の場合、その方式はどれですか. (医)

1. 単独方式
2. 複合方式の主たる施設
3. 複合方式の従たる施設 (一般)

B-21 上述の歯科医師臨床研修医以外になんらかの研修医を受け入れていますか. (一般, 医)

1. 常時受け入れている

2. 受け入れることもある

3. 受け入れていない

B-21-1 「受け入れている」の場合、その実態はつぎのどれですか。（一般、医）

1. ほとんど常勤の研修医（研究生など）、その待遇は（有給、無給）

2. 週に1～2回、月に1～2回など、不定期にくる研修医（研究生など）

3. 非常勤歯科医師の扱い

4. その他（ ）

B-22 院外の歯科医師の参加できるなんらかの勉強会をしていますか。（一般、医）

1) している、2) していない

B-23 貴施設には看護学校がありますか。（一般、医）

1) ある、2) ない

B-23-1 「ある」の場合、歯科の講義をしていますか。

1) している、2) していない

B-23-2 「ある」の場合、歯科の臨床実習をしていますか。

1) している、2) していない

B-24 貴施設は歯科衛生士学校の臨床研修施設ですか。（一般、医、歯）

1) はい、2) いいえ

B-25 今後、（大学）病院歯科と一般診療所とは機能を分担し、病診連携する必要があるといわれていますが、このことについてどのようにお考えですか。（一般、医）

1. 今後、病診連携を積極的に進めるべきである

2. 必要であるが、実際は難しい

3. 今までよい

4. 必要とは思わない

5. 分からない

B-26 貴病院において歯科の病診連携を行っていますか。（一般、医、歯）

1. 地区歯科医師会と取り決めをして行っている

2. 取り決めはないが、実質的には行っている

3. 地域との間で行うよう努力している

4. 行いたいが、実施は難しい

5. 行っていない

B-26-1 前問的回答が4、5の場合、その理由は何ですか。（一般、医）

1. 地域からの要請がない

2. 地域のなかでそのような体制がまったく進んでいないから

2. 自施設（病院自体）にその様な体制が整っていないから

4. 他の病院が行っているから

5. 現状ではやってもメリットがない

6. 必要性を感じない

7. 関心がない

8. 分からない

9. その他（ ）

B-26-2 「行っていない」場合、病診連携をはじめる予定はありますか（一般、医）

1) ある、2) ない

B-27 病院歯科加算を算定していますか（一般、医、歯）

1. 病院歯科Iで算定している

2. 病院歯科IIで算定している

3. 算定していない（できない）

B-28 貴附属病院は「特定機能病院」の指定を受けていますか。 (医)

1) 指定を受けている, 2) 指定を受けていない

B-28-1 前問で「指定を受けている」、「指定を受けていない」に関わらず、貴科（歯科施設）だけの紹介率は何%ですか。 (医) %

B-28-2 「2」指定を受けていない場合、いわゆる病院歯科加算（病院歯科初診料1および2、病院歯科再診料1および2）を算定していますか。 (医)

1. 病院歯科加算1で算定している
2. 病院歯科加算2で算定している
3. 算定していない

B-28 在宅医療を行っていますか (一般)

1) はい, 2) いいえ

B-28-1 「はい」の場合、年間患者数はどのくらいですか (一般) 名

B-28-2 「いいえ」の場合、年間延診療科異数はどのくらいですか (一般) 回

B-29 病院歯科がなすべき救急処置は以下のうちどのような処置が妥当ですか (一般、医)

1. 夜間、休日の一般歯科処置（歯髓炎など）
2. 一般歯科診療所（開業医）での偶発症（抜歯後出血など）
3. 有病者に対する歯科医療
4. いわゆる感染症（HBV, HCV, HIV）患者
5. 顎炎、峰窩織炎、外傷などの口腔外科的疾患

B-30 一般歯科診療所（開業医）から特定の治療内容（智歯の抜歯など）について依頼（紹介）された患者に対する対応についてお答え下さい。 (一般)

1. 依頼された治療が終了したら直ちに紹介元の診療所に戻す
2. 患者が引き続いて診療を希望した場合でも紹介元の診療所に必ず戻す
3. 患者が引き続いて診療を希望した場合、紹介元の了解なしに治療することもある
4. 患者の意志を尊重し、希望すれば（紹介元の了解なしに）自施設での診療を行っている
5. 紹介元の了解が得られれば自施設での診療を行っている

B-30-1 一般歯科診療所（開業医）からの紹介患者が、依頼された治療が終了した後も引き続いて貴院での診療を希望する場合はどの程度ありますか。 (一般)

1. かなり多い（半数以上）
2. 時々ある（1/3程度）
3. たまにある（10%以下）
4. ほとんどない

B-30-2 一般歯科診療所（開業医）から特定の治療について依頼されたが、依頼の内容が納得できないような場合、どのように対応されていますか（例えば抜歯を依頼されたが、歯内療法で十分対応できると判断されるような場合）。 (一般)

1. 紹介元の診療所の方針通り依頼内容を行うようにしている
2. 紹介元の診療所に連絡して方針を変えるよう説得する
3. 紹介元の診療所に連絡して協議した後、あらためて方針を双方で決める
4. 自施設での方針に沿って診療し、変更したことを治療後に連絡する
5. 理由を明記した報告書を持たせて紹介元の診療所に帰す

B-30 貴科は特定の大大学（歯科口腔外科、医局）と協力関係にありますか (一般)

1. 人事も診療も独自の方針で行っており、特定の大大学とは協力関係はない

2. 人事については独自性を持っているが、診療については協力を得ることがある
3. 人事も診療も特定の大學生の方針に副って行っている。
4. 人事も診療も時に応じて適宜大学の協力を得ている
5. その他 ()

B-31 貴施設はいわゆる関連病院（人事、患者の紹介、医局研究会への出席など特別な関係を有する他の病院歯科施設）をお持ちですか。（医） 1) はい, 2) いいえ

「1」はいの場合、B-31-1, B-31-2, B-31-3 の質問にお答え下さい。

B-31-1 差し支えなければ関連病院の数を教えて下さい。（医） ケ所

B-31-2 関連病院歯科を複数カ所お持つの場合、それらの施設は次のどれに該当しますか。（医）

1. すべて同一2次医療圏内、あるいは同一都府県内ないし隣接都府県内にある
2. ほとんどが同一2次医療圏内、あるいは同一都府県内ないし隣接都府県内にある
3. 半分程度が同一2次医療圏内、あるいは同一都府県内ないし隣接都府県内にある
4. 2次医療圏など地域性とはほとんど関連がない

B-31-3 関連病院との具体的な関係について最も該当するものを次の中から選んで下さい。（医）

1. 関連病院歯科施設長の人事はほとんどすべて母教室で決めている
2. 関連病院歯科施設の要員（施設長以外）はほとんどすべて母教室から派遣している
3. 診療面でのみ協力関係にある
4. 人事も診療面も時に応じて適宜相談している
5. その他 ()

B-32-A 口腔外科疾患や有病者の難症例を高次の（三次）医療機関（大学の関連施設や国立センターなど）に紹介することありますか。（一般）

1. 難症例もすべて自施設で対応しており、ほとんど皆無である
2. 難症例を時々紹介している
3. 難症例をしばしば紹介している
4. 紹介するよりも自施設に指導者を派遣してもらうことがある

B-32-B 口腔外科疾患の難症例をさらに高次の医療機関（国立センターなど）や専門施設に紹介することはありますか。（医）

1. 難症例もすべて自施設で対応しており、ほとんど皆無である
2. 難症例を時々紹介している
3. 難症例をしばしば紹介している
4. 紹介するよりも自施設に指導者を派遣してもらうことがある
5. その他 ()

B-33 日本病院歯科口腔外科協議会をご存知ですか（一般） 1) はい, 2) いいえ

B-34 日本病院歯科口腔外科協議会に加入されていますか（一般） 1) はい, 2) いいえ

B-35 「かかりつけ歯科医」制度を推進する意味から病院歯科が備えるべき機能のうち最も重要なものを3つ選んで下さい（複数回答可）。（一般、医、歯）

1. いわゆる感染症（HBV, HCV, HIV）患者に対する歯科治療
2. 有病者に対する歯科治療
3. 寝たきり、老人性痴呆症患者などに対する入院下での一般歯科治療
4. 障害者歯科治療
5. 口腔外科的疾患の治療
6. 重篤な歯周病
7. 歯内療法の難症例
8. 偶発症発症時の支援